

II 油糧種子

1 2008/09年度の国際的な油糧種子需給の概要

○2008/09年度の油糧種子需給（予測）のポイント

2008/09年度の油糧種子需給は、中国、EU等のなたねの増産などにより油糧種子全体の生産量は増加するものの、中国での食用油需要やEU等でのバイオディーゼル用需要が拡大する中、消費量が生産量を上回ると見込まれる。

また、期末在庫量は取り崩されることから、油糧種子全体の需給は引き締まるものと見込まれる。

【生産量】

世界の油糧種子全体の生産量は、なたね、ひまわり種等の増加から前年度より12.0百万トン増加（3.1%）し、403.5百万トンとなる見込みである。

品目別には、大豆については、米国で作付けが拡大したものの、南米の干ばつなどから生産量が減少し、なたねについては、インド、中国等の作付けの増加や、カナダ、EUの良好な天候を背景に生産量が増加すると見込まれている。

【消費量】

世界の油糧種子全体の消費量は、堅調な搾油需要の拡大などから、前年度より5.6百万トン増加（1.4%）し、405.9百万トンとなる見込みである。

品目別には、大豆については、中国で搾油需要を中心とした増加が見込まれるものの、米国等で搾油用需要の減少などから消費量が減少し、なたねについては、バイオディーゼル用需要の拡大を背景としたEU、カナダ等の搾油用需要の拡大などから消費量が増加すると見込まれている。

【貿易量】

世界の油糧種子の貿易量は、2.3百万トン減少（▲2.5%）し、90.4百万トンとなる見込みである。

品目別には、大豆については、貿易量の約5割を輸入する中国で豊作から輸入量が減少に転じ、EUも輸入量が減少することなどから、貿易量の減少が見込まれている。一方、なたねについては、バイオディーゼル需要の拡大などを背景に輸入量の増加が見込まれている。

【期末在庫量】

世界の油糧種子全体の期末在庫量は、3.8百万トン減少（▲6.2%）し、58.6百万トンとなる見込みである。また、油糧種子全体の期末在庫率は、期末在庫量が取り崩されることから、14.4%と1.2ポイント低下する見込みである。

品目別には、大豆の期末在庫量は前年度から取り崩されるものの、期末在庫率は2割を上回っており、世界全体としては極度の需給の引き締めりはみられない。なたねの期末在庫量は積み増しされ、期末在庫率は、1割まで回復すると見込まれている。

表－1 世界の油糧種子需給

(単位:百万トン)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09			
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	油糧種子計	404.4	391.5	403.5	▲ 4.2	3.1
	うち、大豆	237.4	220.8	218.8	▲ 4.5	▲ 0.9
	なたね	45.2	48.4	57.9	0.4	19.6
	綿花	45.8	46.1	41.8	▲ 0.3	▲ 9.2
	ピーナッツ ひまわり種	30.7 29.8	32.1 27.2	35.0 32.2	0.2 ▲ 0.1	8.9 18.3
消費量	油糧種子計	393.4	400.3	405.9	0.1	1.4
	うち、大豆	225.5	229.8	225.4	▲ 0.3	▲ 1.9
	なたね	46.4	49.0	54.7	0.3	11.6
	綿花	45.8	46.0	42.6	▲ 0.2	▲ 7.6
	ピーナッツ ひまわり種	30.8 29.4	32.0 26.7	34.1 31.6	0.2 0.1	6.8 18.1
うち、 搾油用	油糧種子計	328.7	338.4	341.2	▲ 0.1	0.8
	うち、大豆	195.9	201.7	195.1	▲ 0.3	▲ 3.3
	なたね	43.7	46.6	51.8	0.3	11.1
	綿花	33.7	34.7	32.8	▲ 0.2	▲ 5.5
	ピーナッツ ひまわり種	14.1 26.1	14.9 23.8	16.1 28.0	0.1 ▲ 0.1	7.7 17.5
貿易量	油糧種子計	83.6	92.7	90.4	▲ 0.8	▲ 2.5
	うち、大豆	71.5	79.5	74.1	▲ 0.7	▲ 6.8
	なたね	6.6	8.2	11.1	0.0	35.7
	綿花	0.8	0.8	0.5	▲ 0.1	▲ 36.9
	ピーナッツ ひまわり種	2.4 1.9	2.5 1.4	2.5 1.9	0.0 ▲ 0.0	▲ 1.2 31.5
期末 在庫量	油糧種子計	73.3	62.4	58.6	▲ 4.1	▲ 6.2
	うち、大豆	62.7	53.1	45.8	▲ 4.1	▲ 13.7
	なたね	4.7	3.4	6.4	0.2	87.9
	綿花	1.3	1.2	0.7	▲ 0.0	▲ 46.8
	ピーナッツ ひまわり種	1.3 3.1	1.0 3.4	1.4 3.8	▲ 0.0 ▲ 0.2	41.2 13.4
期末 在庫率	油糧種子計	18.6%	15.6%	14.4%	▲ 1.0	▲ 1.2
	うち、大豆	27.8%	23.1%	20.3%	▲ 1.8	▲ 2.8
	なたね	10.0%	6.9%	11.6%	0.3	4.7
	綿花	2.9%	2.7%	1.6%	▲ 0.0	▲ 1.1
	ピーナッツ ひまわり種	4.2% 10.5%	3.2% 12.5%	4.2% 12.0%	▲ 0.1 ▲ 0.5	1.0 ▲ 0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、「PS & D」

注：期末在庫率の「前月予測からの変更」と「対前年度増減率」は、前月予測及び前年度とのポイント差である。

【参考】2008/09年度の油糧種子需給予測の主な改訂（主要品目の前月予測と今月予測の差）

前月の予測からの改訂は、生産量はなたねがインドで上方修正されたものの、大豆は干ばつの影響によりアルゼンチンで下方修正され、油糧種子全体で4.2百万トン下方修正されている。また、消費量は大豆が下方修正、なたねが上方修正され、油糧種子全体で0.1百万トン上方修正されている。生産量の下方修正と消費量の上方修正により、期末在庫量は4.1百万トン下方修正された。
 なお、大豆については、生産量が下方修正されたアルゼンチンで輸出量も下方修正されており、世界全体の貿易量も下方修正されている。

○ 大豆

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 搾油用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	▲ 4.5	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.7	…	▲ 4.1
米国	-	▲ 0.0	▲ 0.1	0.7	0.1	▲ 0.5
ブラジル	-	0.4	0.4	0.2	-	▲ 0.7
カナダ	-	-	-	-	-	-
中国	-	-	-	-	-	-
アルゼンチン	▲ 4.0	0.0	-	▲ 1.6	▲ 0.2	▲ 2.6

○ なたね

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 搾油用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	0.4	0.3	0.3	0.0	…	0.2
カナダ	-	-	-	-	-	-
オーストラリア	-	-	-	-	-	-
EU-27	-	0.2	0.2	▲ 0.1	0.4	0.2
中国	-	-	-	-	-	-
インド	0.4	0.4	0.4	-	-	▲ 0.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、"Oilseeds: World Markets and Trade"、「PS&D」

注：期末在庫量の変更については、2007/08年度の需給データの改訂により、2008/09年度の期首在庫量が修正されたことに伴う場合もある。